

イエスは群衆を呼び寄せて言われた。

「聞いて悟りなさい。」

マタイの福音書

15章 10節

「今日は何の日？」というコーナーが、昔の人情情報番組にありました。さて、本日10月31日は？ 選挙？ ハロウィン？ 私たちプロテスタント教会が覚えないのは宗教改革記念日です。

今から500年ほど前。1517年のこの日、マルチン・ルターはヴィッテンベルク城教会の扉に「95箇条の提題」を張りだしました。ローマ・カトリック教会が教皇の名のもとに免罪符を販売することに抗議したのです。免罪符は神による赦しの恵みを金銭で買わせるという行為で、ルターはそれに反対を表明したのです。

免罪符は中世の時代に集金手段として繰

り返し販売されました。当時の教会は神の恵みを隠れ蓑として人間の欲望を満たすことに腐心していたのです。私たちから見れば信じられないことです。

けれどもその過ちは決して他人事ではありません。罪は狡猾で、巧妙に人の心に忍び込み、人を欺きます。

イエス様の時代、パリサイ人たちは「言いい伝え・口伝律法」に囚われていました。それはモーセの律法（聖書）を破らないために設けられたものでしたが、言い伝えを守る事が目的化されました。言い伝えを守っていれば自分は罪を犯さないという安易な考えが、罪に陥ったことにさえ気付か

なくさせたのです。

イエス様は人の心から出てくるものが人を汚すと指摘しました（16～20節）。パリサイ人たちも中世の教会も、神の恵みを求めるよりも世の富や名誉、体裁を重んじました。恐らく彼らは自分たちが的外れなことをしているという自覚に欠けていたでしょう。そこが恐ろしいことです。

私たちはどうすればよいのでしょうか？

「聞いて悟る」（10）とは、みことばを聞いて心に蓄え、聖霊の助けをいただいてみことばの真意を理解するということです。私たち罪人の生まれつきの心は神の思いを無視した悪い思いを生み出します（19）。みことばを「聞く」とき、神の思いが「心」に蓄えられ変えられるのです。みことばに聞き続けることが大切です。（泰）

【ご案内】

*富弘カレンダー予約販売

本日〆切

申込用紙に必要事項を記入してお申し込み下さい。

後日、代金引換で引き渡します。

【報告 消息】

・荻野泰弘牧師 今週、玉川聖学院で高校2年生を対象に授業を担当します。授業は人間学でテーマは「突然の死とグリーフケア」。久仁子伝召天の出来事を話します。11月2日と4日の2日間、全5クラスにクラス毎の授業で合計5コマを担当します。霊肉が支えられ良き証しとなるようにお祈りください。

・清掃ボランティア 28日、有志の方々が集まり、普段手が届きづらいところを掃除してくださいました。感謝します。

・11月3日（水）に地下にある汚水ポンプの交換を予定しています。

*児童祝福式

11月14日（日）第2礼拝後

ご希望の方は牧師または管理部へお知らせください。礼拝堂受付に申込用紙があります。

■有志ボランティアによる

無料食品配布にご協力ください

教会有志で立ち上げた「ボランティアグループしおん」は、支援を必要としている地域の方々（ひとり親世帯や生活困窮者）へ食品配布を準備しています。

大田区社会福祉協議会など地域の支援団体と繋がりを持ちながら活動をはじめています。

現在は配布用の食料品を募集しています。ご賛同くださる方にはご協力をお願い致します。賞味期限や募集内容に条件があるので担当者までご一報ください。

《募集締切》11月21日（日）